

平成17年度 学校評価自己評価表

学校名(府中市立第二中学校)

経営理念	地域・保護者からは、本校教育に対する期待は大きい。基礎・基本の定着を図り、いじめや不登校の問題に取り組み、生徒一人ひとりがその持てる力を存分に発揮し、生き生きとした教育活動を行うことのできる学校を創造する。 また、常に自己の生き方を見つめ、他者との関わりを大切にすることで、自己実現の場を確保するとともに、コミュニケーション能力を高め、心豊かな学校生活が送れるよう教育内容を創造する。
------	---

中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価	短期経営目標の達成判断基準
教職員の資質・指導力の向上を図る。	積極的に研修し、指導力の向上に努める。	年間3回以上は、全体又はグループで研修授業を行う。	4	授業研修は5回以上行った。個人の授業公開もすべて1回以上行った。
		年間3回以上、県立教育センターと他校(先進校。公開研等)に学ぶ。	4	平均4回以上研修に出かけており、充分達成できている。
	創意工夫を取り入れた授業を行う。	70%以上の生徒がわかりやすい授業と感じている。	2	「授業に興味関心のわく教材が準備されている」と感じている生徒が63%いるが、わかりやすさという点では充分とはいえない。
基礎・基本の定着、確かな学力、コミュニケーション能力の育成、豊かな心の育成を図る。	ドリル学習を実施する。	前時の復習又はドリル学習を行う。	4	「前時の復習やドリル学習を実施した」という質問に対しては教師・生徒ともに80%を超えている。
	読む力、書く力をつける。	2週間に1度は新聞の記事をまとめ、感想を書くことができる。	3	新聞記事の感想を書くことはほぼ全員できている。内容についての指導をしていく。
	家庭学習を定着させる。	75%以上の生徒が宿題やセミナー学習等を家庭で行うことを習慣化できる。	2	「ほぼ毎日家庭学習をしている」生徒は70%であり、今後の指導が必要である。
	道徳の時間に色々な考え(価値観)があることを知る。	75%以上の生徒が自分の考えを、発表・感想文・挙手等で表現することができる。	2	感想文を書いたり発表ができる生徒は63%である。指名されれば自分の意見や考えを述べるができるが、積極的な発表という点では充分とはいえない。
	キャリア教育の推進。	体験や調べ学習を通して、75%以上の生徒が働くことについて自分の考えを持つことができる。	2	体験や調べ学習には積極的に参加したが、自分の考えを持っていると感じた生徒は70%にとどまった。
全員で取り組む生徒指導の充実を図る。	学習規律を確立する。	チャイム着席ができ、毎時間の授業の最初と最後はちゃんと声を出して挨拶をする。	4	88%の生徒が、できていると感じている。生徒は学習規律を守り、落ち着いて学習ができている。
	掃除ができる。	時間通りにはじめ、時間いっぱい掃除ができる。	2	72%の生徒が掃除ができていると感じているが、時間いっぱい隅々までの丁寧な清掃にはなっていない実態がある。
	あいさつができる。	「おはよう」「こんにちは」「お願いします」「ありがとうございます」「さようなら」などのあいさつができる。	3	78%の生徒が自分から挨拶をしていると考えているが、声が小さかったり、相手の方を向いていないなど課題は残る。しかし、自然な挨拶ができる生徒が増えている。
情報の共有化を図り、家庭・地域と学校が一体となり、生き生きと教育活動ができるようにする。	保護者や地域との交流を積極的に行う。	地域と学校の相互交流を行い、年間1000名以上の参加者がある。	4	参加者が年間のべ1000人以上であり、達成できている。
	学校情報を積極的に公開する。	学校通信及び学年通信等を月1回以上発行する。	4	月に1~2回はできており、目標は達成できている。
		学校HPの更新を月1回は行う。	3	月に1回程度はできている。

改善の方向	<p>(1) 研修等の回数については、目標を達成できている。その研修の成果を授業の内容等に生かしていくことが次の課題と捉える。</p> <p>(2) 前時の復習・ドリル学習の充実については、各教職員が意識して取り組むことで定着してきた。家庭学習の定着を図ることが課題であり、家庭学習の方法の指導や点検等をおこなうとともに、家庭との連携により向上をはかる。道徳については、自分の考えを文章に書くことはできるが、積極的に発表するという点での取り組みが必要である。キャリア教育に関しては体験学習や調べ学習はできているが、働くことについての自分の考えに結びつけるような指導が必要である。</p> <p>(3) チャイム着席や授業あいさつなど授業規律についてはおおむね守れている。チャイムが鳴る前の授業の準備などを授業者や学級での指導を通して改善していく必要がある。あいさつや掃除も、今まで以上に細やかな指導をしていく必要がある。</p> <p>(4) 家庭・地域との情報の共有化については、すべて目標値を超えることはできている。これを維持し、一層の向上をはかる。地域への啓発の機会を増やし、内容を充実することに取り組むを進めていく。</p>
-------	--

評価基準表

4 目標を大きく上回って達成できている	3 目標どおり達成できている
2 目標を下回った	1 目標を大きく下回った